

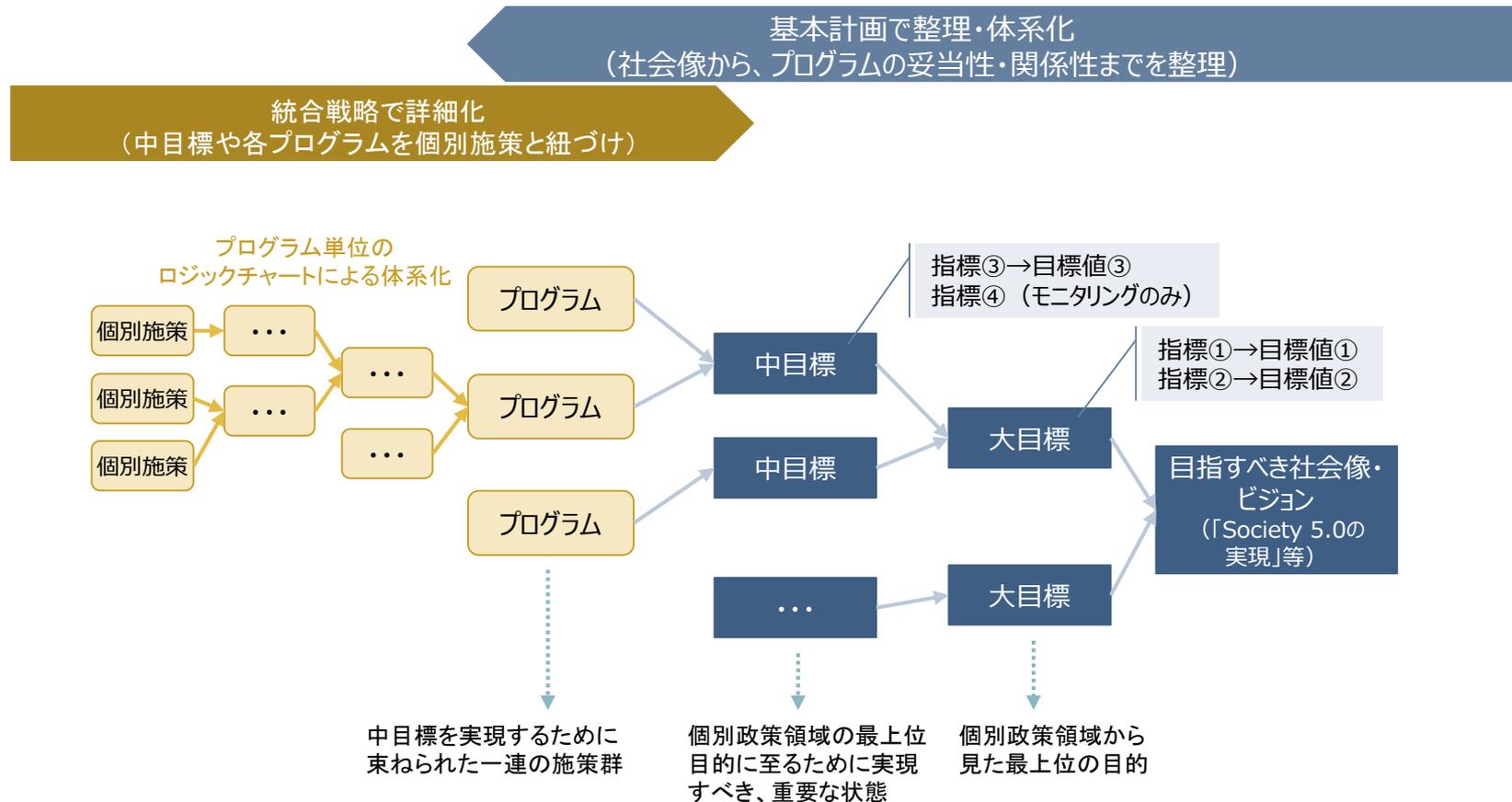
# 第6期科学技術・イノベーション基本計画の ロジックチャートと指標

2021年3月

内閣府政策統括官(科学技術・イノベーション担当)

# ロジックチャートの構成と基本計画・統合戦略の範囲

- 「目指すべき社会像・ビジョン」を最上位としてそこに至る経路をそれぞれ大目標・中目標と位置づけて基本計画に沿って体系的に整理。
- 各状態には、その進捗をモニタリングするための指標と、主要なものについては達成時期や目標値等を設定。
  - ✓ 「指標」は、状態を代表する計測可能なもの。基本計画期間中にモニタリングする対象。
  - ✓ 「目標値」は、STI政策でコントロール可能で、第7期計画検討時に検証可能、かつメッセージ性があるものを設定（例：政府研究開発投資額など）。



地球規模課題の解決を世界に先駆けて解決し、  
国民の安全・安心を確保することで、国民一人ひとりが多様な  
幸せを得られるようにする

## 国民の安全と安心を確保する 持続可能で強靱な社会

- 環境、経済、社会が調和している
- 災害、感染症、サイバーテロなどの脅威に適切に対応している
- 安定的かつ強靱な経済活動が確立されている

## 一人ひとりの多様な幸せが 実現する社会

- 経済的な豊かさが拡大している
- 質的な豊かさが拡大している
  - 誰もが個々に自らの能力を伸ばすことのできる教育が提供されている
  - 個々の能力を活かして働く機会が多数存在している
  - より自分に合った生き方を選択できる(複線的キャリア、失敗の許容など)
  - 健康寿命や社会参加寿命の延伸

### II-1 国民の安全と安心を確保する 持続可能で強靱な社会への変革

- サイバー空間とフィジカル空間の融合という新たなプロセスが確立している
- 「人間中心」の価値観が組み込まれ、国民一人ひとりに寄り添った利便性の高いサービスが提供されている
- 様々な社会課題を解決し、持続可能で強靱な社会が構築されている
- 新たな産業・都市が開花している
- 国際社会に対し、グローバルな課題を克服する新たなモデルを提示している

### II-2 知のフロンティアを開拓しイノベーションの源泉となる研究力の強化

- 俯瞰的な視野で物事を捉える「総合知」などの多様な「知」を活用している
- 非連続な変化に対応して社会課題を解決する基礎研究・学術研究などの知のフロンティアを開拓している

### II-3 一人ひとりの多様な幸せと課題への挑戦を実現する教育・人材育成

- 世界に新たな価値を生み出す人材を輩出している
- 自ら課題を発見し解決手法を模索する教育・人材育成システムが構築されている

### III 知と価値の創出のための資金循環等

- 官民によるSociety 5.0実現への投資が拡大し、投資により得られる利益が新たな投資へとつながっている
- 司令塔機能が強化されている

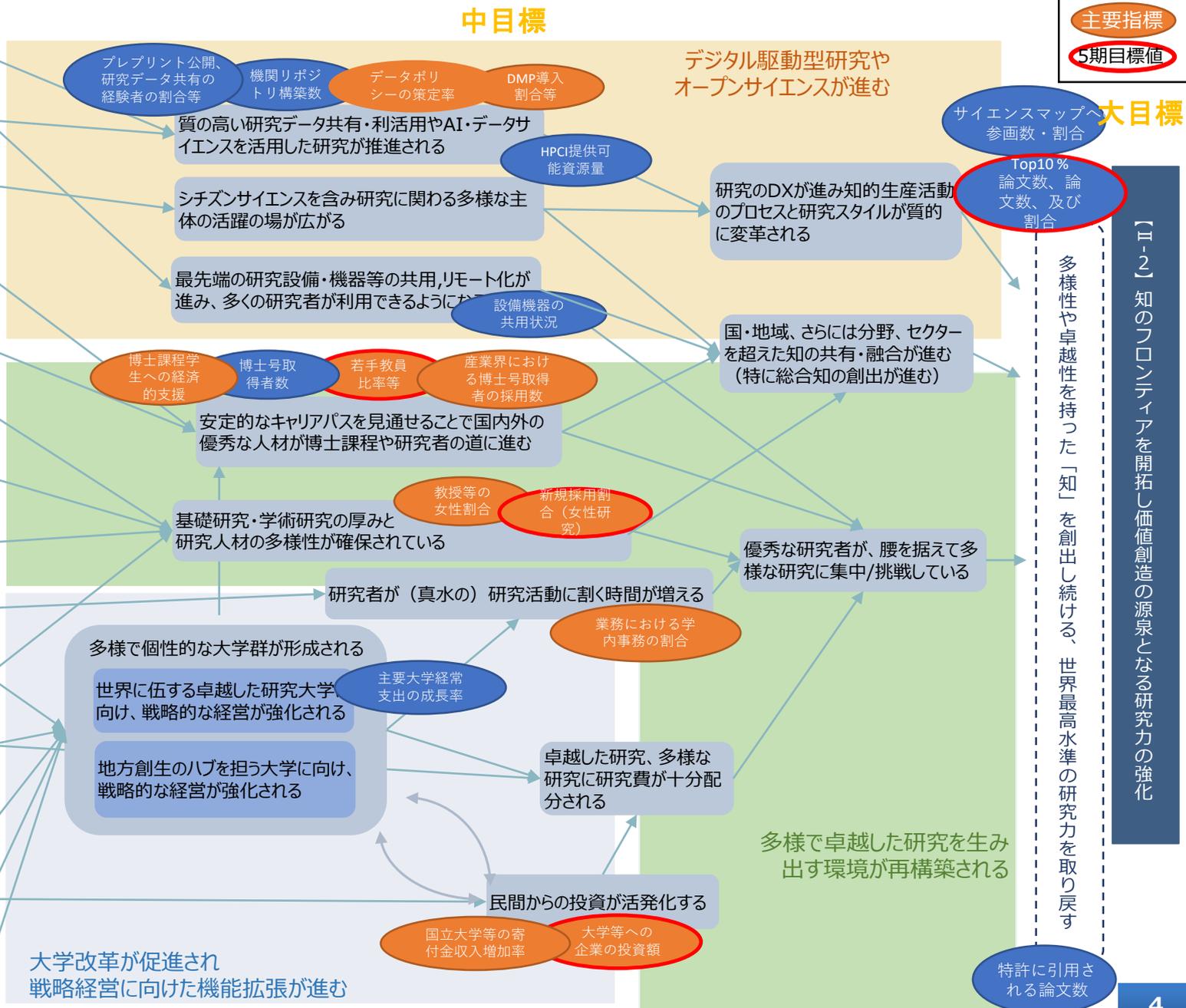


# II-2. 知のフロンティアを開拓し価値創造の源泉となる研究力の強化

凡例

- 指標
- 主要指標
- 5期目標値

- ### プログラム
- 研究データ管理・利活用促進の環境を整備する
  - 研究DXを支えるインフラ整備と高付加価値な研究を加速する
  - 研究DXが開拓する新しい研究コミュニティ・環境を醸成する
  - 博士課程学生の処遇向上とキャリアパスを拡大する
  - 若手研究者の活躍できる環境を整備する
  - 女性研究者の活躍を推進する
  - 基礎研究・学術研究を振興する
  - 国際共同研究・国際頭脳循環を推進する
  - 研究時間を確保する
  - 人文・社会科学を振興し、総合知を活用する
  - 競争的資金制度を一体的に改革する
  - 大学と国との自律的契約関係を構築する
  - 戦略的経営を支援する規制を緩和する
  - 公的資金とガバナンスを多様にする



【II-2】 知のフロンティアを開拓し価値創造の源泉となる研究力の強化

# Ⅱ-3. 一人ひとりの多様な幸せと課題への挑戦を実現する教育・人材育成

凡例

- 指標
- 主要指標
- 5期目標値

## 大目標

【Ⅱ-3】一人ひとりの多様な幸せと課題への挑戦を実現する教育・人材育成

多様な幸せを追求し、課題に立ち向かう人材を育成するため、日本全体をSociety5.0へと転換するため、

社会の多様な主体の参画の下、好奇心に基づいた学びにより、探究力を強化

個人が「やりたいこと」を見出し、それに向かって能力・資質を絶えず磨いていく

## 中目標

数学・理科を楽しんでいる割合

探究力や好奇心を涵養する教育が実施されている

社会問題の解決に関与したい者の割合

外部人材・資源が最大限活用され、教育と社会の接続が強化されている

教員の時間外勤務時間

教育分野におけるデジタル・トランスフォーメーションが個別最適で協働的な学びを支えている

ICT導入・活用状況

STEAMライブラリコンテンツ数

個人が興味・関心を生かすつ能力を発揮し、それが適切に評価されるようにするための、社会システムと双方向的に関わる教育・人材育成システムが構築されている

社会問題の解決に関与したい者の割合

キャリアチェンジやキャリアアップに積極的に踏み出す人材が増加する

キャリアコンサルタント数

個人が学び続けるために多様な働き方を許容する環境が実現されている

教育訓練休暇制度の導入割合

大学において多様なニーズに対応できる質の高いリカレント教育のキャリアラム・プログラムが提供されている

個人の能力が最大限発揮されるとともに、複線型キャリアパスにより知の循環を促進するための、多様で質の高いリカレント教育が受けられる

大学等におけるリカレント教育の受講者数

## プログラム

STEAM教育の推進により探究力の育成を強化する

外部人材や外部資源の学びへの参画を進める

デジタル活用を前提とした教育環境の充実・拡大

人材流動性の促進とキャリアチェンジやキャリアアップに向けた学びを強化する

学び続けることを社会や企業が促進する環境・文化の醸成

大学・高等専門学校における多様なカリキュラム・プログラムの提供

市民参画など多様な主体の参画による知の共創と科学技術コミュニケーションの強化

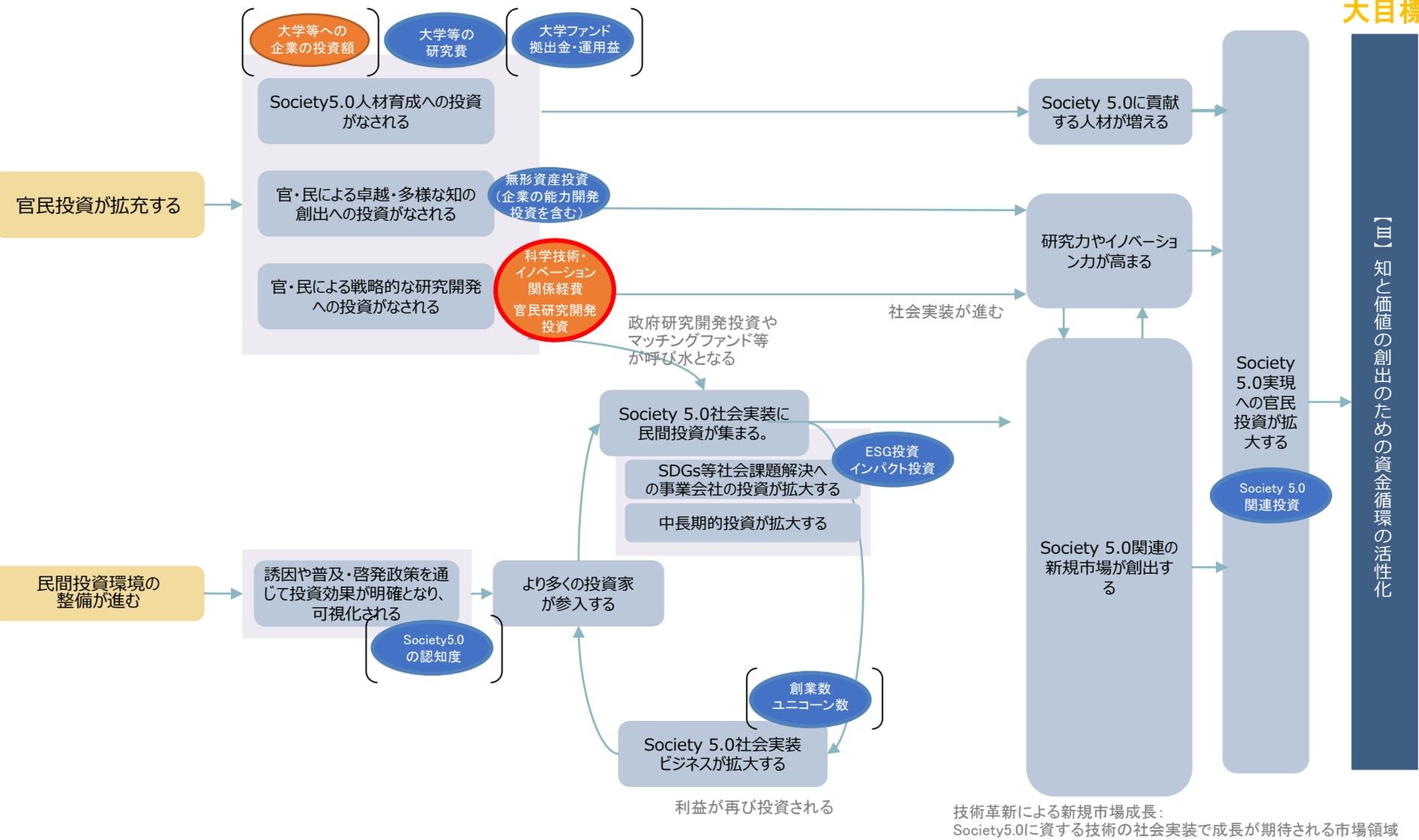
凡例

- 指標
- 主要指標
- 5期目標値

## プログラム

## 中目標

## 大目標



# 基本計画における指標

N	項目	分類	指標(基本計画上の表記)	データソース	
1	1. 国民の安全と安心を確保する持続可能で強靱な社会への変革	参考指標	The Sustainable Development Goals Report	SDSN "Sustainable Development Report 20XX"	
2		参考指標	より良い暮らし指標(Better Life Index)	OECD Better Life Index	
3		参考指標	健康寿命	厚生労働白書	
4		参考指標	GDP	国民経済計算	
5		参考指標	国際競争力	IMD世界競争力ランキング	
6		参考指標	行政サービス関連データのオープン化状況	Data.go.jp	
7		参考指標	DXに取り組む企業の割合	IT人材白書2020	
8		参考指標	ICT市場規模	情報通信白書	
9		参考指標	IMDデジタル競争力ランキング	IMDデジタル競争力ランキング	
10		参考指標	分野間データ連携基盤で検索可能なカタログセット数	SIPサイバーステージゲート資料	
11		参考指標	分野間データ連携基盤で検索可能なカタログセットを提供するサイト数	SIPサイバーステージゲート資料	
12	1. (1)サイバー空間とフィジカル空間の融合による新たな価値の創出	参考指標	研究データ基盤システムに収載された公的資金による研究データの公開メタデータ(機関、プログラム毎など)	NII Research Data Cloud: NIIを通じて調査	
13		参考指標	通信網の整備状況:5G基盤展開率	総務省調査	
14		参考指標	通信網の整備状況:5G基盤展開率光ファイバ未整備世帯数	総務省調査	
15		参考指標	Society 5.0の認知度、サービスへの期待・不安・認知度	第5期科学技術基本計画レビュー(内閣府調査)	
16		参考指標	数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度の認定教育プログラム数	内閣府(文部科学省、経済産業省)	
17		参考指標	情報通信分野の研究開発費	総務省「科学技術研究調査」	
18		主要指標	スタートアップや研究者を含めた誰もが、分野間でデータを連携・接続できる環境の整備状況:防災	内閣府「世界と伍するスタートアップエコシステム拠点都市の形成」※データ関係の仕組みが構築(2023年度中)された後に、当該拠点都市にアンケートを実施。	
19		主要指標	スタートアップや研究者を含めた誰もが、分野間でデータを連携・接続できる環境の整備状況:スマートシティ	地方公共団体へのアンケート調査	
20		1. (2)地球規模課題の克服に向けた社会変革と非連続的イノベーションの推進	参考指標	革新的環境イノベーション戦略(イノベーション・アクションプラン、アクセラレーションプラン、ゼロエミッション・イニシアティブズ)の進捗状況	定量的な指標ではなく、グリーンイノベーション戦略推進会議において進捗状況をフォローアップして、イノベーションダッシュボードなどとして整理して随時公表
21			参考指標	ゼロカーボンシティ数	環境省大臣官房環境計画課
22	参考指標		環境分野の研究開発費	総務省「科学技術研究調査」	
23	参考指標		エネルギー分野の研究開発費	総務省「科学技術研究調査」	
24	参考指標		RE100加盟企業数(日本)	RE100のウェブサイトをもとに、日本気候リーダーズ・パートナーシップ(JCLP)事務局集計	
25	参考指標		温室効果ガス排出量	環境省発表「2019年度(令和元年度)の温室効果ガス排出量(速報値)について」	
26	参考指標		日本における平均気温上昇度	日本の気候変動2020-大気と陸・海洋に関する観測・予測評価報告書-(2020年12月4日文部科学省、気象庁公表)	
27	参考指標		資源生産性	資源生産性=GDP / 天然資源等投入量として算出	
28	参考指標	循環型社会ビジネスの市場規模	令和元年度 環境産業の市場規模・雇用規模等に関する報告書(令和2年7月20日環境省公表)より算出		

N	項目	分類	指標(基本計画上の表記)	データソース
29	1. (3)レジリエントで安全・安心な社会の構築	参考指標	自然災害による死者・行方不明者数	内閣府「防災白書」
30		参考指標	自然災害による施設関係等被害額	内閣府「防災白書」
31		参考指標	短時間強雨(50mm/h以上)の年間発生回数	気象庁「全国(アメダス)の1時間降水量50mm以上の年間発生回数」 https://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/extreme/extreme_p.html
32		参考指標	建設後50年以上経過するインフラの割合	国土交通省「国土交通白書」
33		参考指標	サイバー攻撃件数	情報処理推進機構「情報セキュリティ白書」
34		参考指標	感染症発生動向調査における、感染症患者の報告件数	国立感染症研究所「感染症発生動向調査」
35		主要指標	基盤的防災情報流通ネットワークSIP4D(Shared Information Platform for Disaster Management)を活用した災害対応が可能な都道府県数	内閣府において都道府県、防災科学技術研究所に確認
36		主要指標	防災チャットボットの運用自治体数	研究開発を行うウェザーニューズへ確認
37		主要指標	2025年度目途に府省庁及び主要な自治体・民間企業とのインフラデータプラットフォーム間の連携及び主要他分野とのデータ連携を完了	連携型インフラデータプラットフォームへの参加者に確認
38		主要指標	2021年度にサイバーセキュリティ情報を国内で収集・生成・提供するためのシステム基盤を構築、産学への開放を実施	内閣官房(NISC)
39	主要指標	生物学的脅威に対する対応力強化	厚生労働省	
40	主要指標	新たなシンクタンク機能	内閣府	
41	1. (4)価値共創型の新たな産業基盤(イノベーション・エコシステム)の形成	参考指標	大学等スタートアップ創業数	大学は文部科学省「産学連携等実施状況調査」 研究開発法人は「独立行政法人等の科学技術関係活動等に関する調査」
42		参考指標	VC等による投資額・投資件数	(一財)ベンチャーエンタープライズセンター「ベンチャー白書」※有料
43		参考指標	国境を越えた商標出願と特許出願	NISTEP「科学技術指標」
44		参考指標	研究者の部門間の流動性	総務省「科学技術研究調査」
45		主要指標	SBIR制度に基づくスタートアップ等への支出目標	中企庁、内閣府調べ ※内閣府は2021年度以降
46		主要指標	官公需法に基づく創業10年未満の新規事業者向け契約目標	官公需法に基づく「令和2年度中小企業者に関する国等の契約の基本方針」について
47		主要指標	実践的なアントレプレナーシッププログラムの受講者数	文科省調べ
48		主要指標	大学等及び国立研究開発法人における民間企業からの共同研究の受入額	大学は文部科学省「産学連携等実施状況調査」 研究開発法人は「独立行政法人等の科学技術関係活動等に関する調査」
49		主要指標	分野間でデータを連携・接続する事例を有するスタートアップ・エコシステム拠点都市数の割合	内閣府「世界と伍するスタートアップ・エコシステム拠点都市の形成」 ※データ連携の仕組みが構築(2023年度中)された後に、当該拠点都市にアンケートを実施。
50		主要指標	企業価値又は時価総額が10億ドル以上となる、未上場ベンチャー企業(ユニコーン)又は上場ベンチャー企業創出数	未上場ベンチャー企業(ユニコーン)数は、JAPAN STARTUP FINANCE REPORT (INITIAL)を基に内閣府(科技)において算出 上場ベンチャー企業数については内閣府(科技)調べ 2018年度から2025年度までの目標として、令和2年度革新的事業活動に関する実行計画(令和2年7月17日)において設定
51	1. (5)次世代のくらしの基盤となる都市と地域づくり(スマートシティの展開)	参考指標	都市OS(データ連携基盤)上で構築されたサービスの種類数	地方公共団体へのアンケート調査
52		参考指標	都市OS(データ連携基盤)を活用してサービスを提供するユーザー数	地方公共団体へのアンケート調査
53		参考指標	政府スマートシティ関連事業に基づき技術の実装がされている地域	スマートシティ関連事業の担当(内閣府未来技術等社会実装事業、内閣府、国土交通省)に対するアンケート
54		参考指標	スマートシティの連携事例数	地方公共団体へのアンケート調査
55		参考指標	大学等における地域貢献・社会課題解決に関する普及促進活動数	文部科学省へのアンケート調査
56		参考指標	スマートシティの構築を先導する人材数	地方公共団体へのアンケート調査
57		主要指標	スマートシティの実装数(技術の実装や分野間でデータを連携・接続する自治体・地域団体数)	地方公共団体へのアンケート調査
58		主要指標	スマートシティに取り組む自治体及び民間企業・地域団体の数(スマートシティ官民連携プラットフォームの会員・オブザーバ数)	スマートシティ官民連携プラットフォームの構成と会員一覧() ※会員情報(令和2年12月18日時点):692団体
59		主要指標	海外での先進的なデジタル技術・システム(スマートシティをはじめ複数分野に跨る情報基盤、高度ICT、AI等)の獲得・活用に係る案件形成などに向けた支援件数	国土交通省(「ASEANスマートシティ・ネットワーク(ASCN)」のもと、民間企業・諸外国との連携を通じたプロジェクトの推進を目指しているASEAN10か国の26都市)他関係各省へのアンケート

N	項目	分類	指標(基本計画上の表記)	データソース
60	1. (6) 様々な社会課題を解決するための研究開発・社会実装の推進と総合知の活用	参考指標	戦略的な分野(AI、バイオテクノロジー、量子技術、マテリアル等)における研究開発費	総務省「科学技術研究調査」
61		参考指標	世界企業時価総額ランキング	ブルームバーグワールドインデックス等
62		参考指標	IMD世界競争力ランキング	IMDの世界競争力センター 2020年版「世界競争力ランキング(World Competitiveness Ranking)」
63		参考指標	政府事業等のイノベーション化の実施状況	内閣府
64		参考指標	総合知を活用した研究開発課題数の割合	※今後収集体制を整える必要がある(6期基本計画中に「2021年度実績からの計測に努める」との記載あり)
65		参考指標	食料自給率・輸出額、食品ロス量、自動走行車普及率・交通事故者数など社会課題関連指標	食料・農業・農村基本計画 財務省「貿易統計」に基づく、農林水産物・食品の輸出額(農林水産省作成) 運転支援技術の普及状況(国都交通省調べ) 交通事故統計
66		参考指標	課題・分野別の論文、知財、標準化	クラリベイト・アナリティクス社 Web of Science XML
67		参考指標	研究データ基盤システムに収録された公的資金による研究データの公開メタデータ(機関、プログラム毎など)	NII Research Data Cloud: NIIを通じて調査
68		参考指標	科学技術に関する国民意識調査	科学技術に関する国民意識調査
69		主要指標	社会課題の解決の推進: 次期SIPの全ての課題で人文・社会科学系の知見を有する研究者や研究機関の参画を促進する仕組みと「総合知」を有効に活用するための実施体制を組み込み、成果の社会実装を進める	内閣府
70		主要指標	国益を最大化できるような科学技術国際協力ネットワークの戦略的構築: 科学技術外交を戦略的に推進し、先端重要分野における国際協力取決め数や被引用数Top1%論文中の国際共著論文数を着実に増やしていく	クラリベイト・アナリティクス社 Web of Science XML
71	主要指標	国際的な合意形成や枠組み・ルール形成等における我が国のプレゼンス: 国際機関におけるガイドライン等の作成における我が国の関与を高めるとともに、社会課題の解決や国際市場の獲得等に向けた知的財産・標準の国際的・戦略的な活用に関する取組状況(国際標準の形成・活用に係る取組や支援の件数等)を着実に進展させていく	内閣府(今後詳細化が必要)、知財本部	

N	項目	分類	指標(基本計画上の表記)	データソース
72	2. 知のフロンティアを開拓し価値創造の源泉となる研究力の強化	参考指標	国際的に注目される研究領域(サイエスマップ)への参画数、参画割合	NISTEP「サイエスマップ調査」
73		参考指標	特許に引用される論文数	クラリベイト・アナリティクス社 Web of Science XML
74		参考指標	被引用数Top10%補正論文数、総論文数に占める割合	クラリベイト・アナリティクス社 Web of Science XML
75	2. (1) 多様で卓越した研究を生み出す環境の再構築	参考指標	総論文数に占める被引用数Top10%補正論文数の割合	NISTEP「科学技術指標2020」(調査資料-295、2020年8月)を基に整数カウントにより算出
76		参考指標	総論文数及びその国際シェア	NISTEP「科学技術指標2020」(調査資料-295、2020年8月)を基に整数カウントにより算出
77		参考指標	国際的に注目される研究領域(サイエスマップ)への参画数、参画割合	NISTEP「サイエスマップ調査」
78		参考指標	人口当たりの博士号取得者数	学校基本調査 人口は総務省統計局、「人口推計」 ※科学技術指標でもこれらのデータを引用
79		参考指標	若手研究者(40歳未満の大学本務教員)の数と全体に占める割合	文部科学省「学校教員統計調査」
80		参考指標	民間企業を含めた全研究者に占める女性研究者の割合	総務省「科学技術研究調査」
81		参考指標	大学本務教員に占める女性研究者の割合	文部科学省調査
82		参考指標	博士後期課程在籍者に占める女性の割合(分野別)	文部科学省「令和2年度学校基本調査」より算出
83		主要指標	生活費相当額程度を受給する博士後期課程学生	文科省調査
84		主要指標	産業界による理工系博士号取得者の採用者数	文科省調査
85	主要指標	40歳未満の大学本務教員の数	文部科学省「学校教員統計調査」	
86	主要指標	研究大学(卓越した成果を創出している海外大学と伍して、全学的に世界で卓越した教育研究、社会実装を機能強化の中核とする「重点支援③」の国立大学)における、35~39歳の大学本務教員数に占めるデニユア教員及びデニユアトラック教員の割合	文部科学省調査	
87	主要指標	大学における女性研究者の新規採用割合	文部科学省「大学における教育内容等の改革状況について」	
88	主要指標	大学教員のうち、教授等(学長、副学長、教授)に占める女性割合	令和2年度学校基本調査	
89	主要指標	大学等教員の職務に占める学内事務等の割合	大学等におけるフルタイム換算データに関する調査	
90	2. (2) 新たな研究システムの構築(オープンサイエンスとデータ駆動型研究等の推進)	参考指標	国立研究開発法人における研究データポリシーの策定法人数	各国研のHP等:内閣府から、各国研を所管している省庁を通じて調査
91		参考指標	競争的研究費制度におけるデータマネジメントプラン(DMP)の導入済み府省・機関数	各府省庁・機関のガイドライン/公募要領(改定状況):内閣府から、各制度を所管している府省庁を通じて調査
92		参考指標	国内における機関リポジトリの構築数	NIIを通じて調査
93		参考指標	研究データ公開の経験のある研究者割合	研究データ公開と論文のオープンアクセスに関する実態調査2018[調査資料-289](文部科学省 科学技術・学術製作研究所ライブラリ):NISTEPを通じて調査
94		参考指標	プレプリント公開の経験のある研究者割合	プレプリントの活用状況と認識を明らかにするための質問紙調査(日本の研究者によるプレプリントの活用状況と認識):NISTEPを通じて調査
95		参考指標	HPCI提供可能資源量	提供可能資源量と要求可能資源量の推移について、一般社団法人高度情報科学技術研究機構に依頼して調査
96		参考指標	研究設備・機器の共有化の割合	「大学等における研究設備・機器の共有方針の策定・公表の割合」 ※詳細は今後検討
97		主要指標	機関リポジトリを有する全ての大学・大学共同利用機関法人・国立研究開発法人において、2025年までに、データポリシーの策定率が100%になる。(策定率)	1. (P)機関リポジトリに研究データを収載している機関を、NIIを通じて調査 2. (P)データポリシーを策定している機関を、内閣府より各省を通じてアンケート等により調査  ※研究活動を行う機関の定義を要検討
98		主要指標	公募型の研究資金109の新規公募分において、2023年度までに、データマネジメントプラン(DMP)及びこれと連動したメタデータの付与を行う仕組みの導入率が100%になる。(導入率)	各府省庁・機関のガイドライン/公募要領(改定状況):各制度を所管している府省庁を通じて調査

N	項目	分類	指標(基本計画上の表記)	データソース
99	2. (3)大学改革の促進と戦略的経営に向けた機能拡張	参考指標	国立大学法人の2007～2018年度の寄附金収入増加率の年平均	各大学財務諸表、内閣府「産学連携活動マネジメントに関する調査」
100		参考指標	大学等及び国立研究開発法人における民間企業からの共同研究の受入額	大学は文部科学省「産学連携等実施状況調査」 研究開発法人は「独立行政法人等の科学技術関係活動等に関する調査」
101		参考指標	主要大学における2005～2019年度の経常支出の成長率(病院経費除く)	各大学財務諸表
102		主要指標	大学等及び国立研究開発法人における民間企業からの共同研究の受入額	大学は文部科学省「産学連携等実施状況調査」 研究開発法人は「独立行政法人等の科学技術関係活動等に関する調査」
103		主要指標	国立大学法人の寄附金収入増加率	各国立大学法人の財務諸表
104	3. 一人ひとりの多様な幸せと課題への挑戦を実現する教育・人材育成	参考指標	算数・数学・理科が「楽しい」と思う児童・生徒の割合	文部科学省「国際数学・理科教育動向調査(TIMSS2019)のポイント」
105		参考指標	社会における問題の解決に関与したいと思う若者の割合	内閣府「我が国と諸外国の若者の意識に関する調査(平成30年度)」
106		参考指標	時間外勤務時間が80時間を超える教職員の割合	文部科学省「令和元年度教育委員会における学校の働き方改革のための取組状況調査」
107		参考指標	学校におけるICT環境整備の状況	文部科学省「令和元年度学校における教育の情報化の実態等に関する調査」
108		参考指標	教育訓練休暇制度の導入割合	厚生労働省「平成30年度能力開発基本調査」
109		参考指標	キャリアコンサルタントの数	厚生労働省「2020年10月末都道府県別登録者数」
110		主要指標	小中学校段階における算数・数学・理科が「楽しい」と思う児童・生徒の割合につき、2025年度までに、国際的に遜色のない水準を視野にその割合の増を目指す。	文部科学省「国際数学・理科教育動向調査(TIMSS2019)のポイント」
111		主要指標	2022年度までに、大学・専門学校等でのリカレント教育の社会人受講者数を100万人とする。	成長戦略2019(令和元年6月21日閣議決定)
112		参考指標	官民の研究開発費総額(対GDP比)	総務省「科学技術研究調査」(最新:2020年12月公表)
113	参考指標	第5期基本計画期間中における「科学技術関係予算」	内閣府「科学技術関係予算」	
114	参考指標	国立大学法人、研究開発法人、大学共同利用機関法人における研究費の2018年度予算執行額の合計	内閣府e-CSTIIによる分析結果	
115	参考指標	企業の能力開発投資を含む日本の無形資産投資	JIPデータベース2018	
116	1. 知と価値の創出のための資金循環の活性化	参考指標	ESG投資	サステナブル投資調査2019
117		参考指標	インパクト投資	「GSG国内諮問委員会」(2019)
118		主要指標	2021年度より2025年度までの、政府研究開発投資の総額の規模	内閣府「科学技術関係予算の推移」
119		主要指標	2021年度より2025年度までの、官民合わせた研究開発投資の総額	総務省「科学技術研究調査」

# 基本計画に基づき検討を行う指標

No.	項目	基本計画上の表記
1	1. (1) サイバー空間とフィジカル空間の融合による新たな価値の創出	教育、医療、防災等の分野において、官民が一体となって活用でき、民間サービス創出の促進に資するデータプラットフォームを、データ戦略のタイムラインに従い、2025年までに構築し、運用を開始するとともに、その際、 <b>データプラットフォームの整備及び利活用状況について測定可能な指標</b> が策定・運用されている状態となることを目指す。【IT、科技、防災、文、厚、国、関係府省】
2	1. (4) 価値共創型の新たな産業を創出する基盤となるイノベーション・エコシステムの形成	<b>企業における研究開発期間などの詳細な研究開発動向を把握するための統計</b> 整備の方法について、2024年度までに検討し、結論を得る。【科技、総、経】
3	1. (5) 次世代のくらしの基盤となる都市と地域づくり(スマートシティの展開)	<b>スマートシティによる、住民満足度の向上、産業の活性化、グリーン化・資源利用の最適化・自然との共生の実現など社会的価値、経済的価値、環境的価値等を高める多様で持続可能な都市や地域の形成について、評価指標</b> の追加を2021年までに検討するとともに、随時見直しとその調査分析等の評価を行う。また、数理応用による全体最適モデルの研究開発並びに分析評価手法の検討など様々な分野の知見を活用し、先端的サービスを提供する都市や、里山など自然と共生する地域など、脱炭素社会・地域循環共生圏等やSociety5.0の実現に向けて、今後目指すべきスマートシティの将来像の具体化につなげる。【社シス、地創、科技、総、経、国】
4	2章1. (6) 様々な社会課題を解決するための研究開発・社会実装の推進と総合知の活用	人文・社会科学の知と自然科学の知の融合による人間や社会の総合的理解と課題解決に貢献する「総合知」に関して、基本的な考え方や、戦略的に推進する方策について2021年度中に取りまとめる。あわせて、 <b>人文・社会科学や総合知に関連する指標</b> について2022年度までに検討を行い、2023年度以降モニタリングを実施する。【科技、文】
5		<b>先端重要分野における国際協力取決め数や被引用数Top1%論文中的国際共著論文数といった指標</b> の集計方法について2021年度までに検討する。【科技、関係府省】
6	2章2. (1) 多様で卓越した研究を生み出す環境の再構築	<b>我が国の研究力を多角的に分析・評価するため</b> 、researchmap等を活用しつつ効率的に研究者に関する多様な情報を把握・解析する。さらに、海外動向も踏まえ、 <b>従来の論文数や被引用度といったものに加えて、イノベーションの創出、新領域開拓、多様性への貢献等、新たな指標</b> の開発を2022年中に行い、その高度化と継続的なモニタリングを実施する。【科技、文、経】
7	2章2. (2) 新たな研究システムの構築(オープンサイエンスとデータ駆動型研究等の推進)	2020年度に実施した試行的取組をベースとして、 <b>DXIによる研究活動の変化等に関する新たな分析手法・指標</b> の開発を行い、2021年度以降、その高度化とモニタリングを実施する。【文】
8	2章3. 一人ひとりの多様な幸せと課題への挑戦を実現する教育・人材育成	2023年度までに、 <b>リカレント教育の社会人受講者数のほか、その教育効果や社会への影響を評価できる指標</b> を開発する。【科技、文、厚、経】
9	3章1. 知と価値の創出のための資金循環の活性化	<b>Society 5.0実現に向けた投資の状況を把握するための指標</b> を2022年度中に開発する。【科技】